

## 小さいけれど大切な体の調整役 甲状腺とその病気

健康エクスプレス No. 65

普段はあまり気にすることのない甲状腺ですが、体内を正常に保つ機能があります。今回は甲状腺の病気をご紹介します。

### 甲状腺とその機能は？

#### (1) 甲状腺はどこにある？

甲状腺は、のどぼとけの下、気管の前面にあります。蝶のような形で、左右4～6cm・縦4～5cm・厚さ1cmほどの大きさです。甲状腺が正常に機能していれば、皮膚の上からさわってもわからないほど柔らかいものです。



#### (2) 甲状腺の機能

甲状腺は、食べ物に含まれているヨードを材料に、トリヨードサイロニン(T3)とサイロキシン(T4)という2種類の甲状腺ホルモンを作り出し、血中に分泌しています。甲状腺ホルモンが作り出される量は、脳下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン(TSH)により、血中濃度が適量となるように調整されています。

#### (3) 甲状腺ホルモンの役割

甲状腺ホルモンは、脳や心臓、消化器、筋肉など全身の新陳代謝を活発にして、精神・神経や身体の活動の調整も行います。また、動物の成長に大きく関わり、例えばオタマジャクシの場合、甲状腺ホルモンが不足すると、カエルに成長することができなくなります。

### 気付きにくい甲状腺の病気

#### (1) 甲状腺の病気は？

甲状腺の病気は女性、中でも20～50才代の女性に多くなっています。男性より多い原因は、解明されていません。代表的な甲状腺の病気および治療法は下表のとおりです。

##### ① 甲状腺機能亢進症<sup>こうしん</sup> = 甲状腺ホルモンが過剰になる

病名	症状	主な治療
バセドウ病	甲状腺全体が腫れて大きくなる、疲れ易くなる、体重が減少する、微熱がある、動悸がする、息切れ、いらいらする、落ち着きがなくなる、集中力が低下する、顔面が紅潮する、体にかゆみができる、眼球が突出してくる など	①薬を服用して甲状腺ホルモンの合成を抑える、②甲状腺の摘出手術、③放射性物質を服用し、甲状腺細胞の働きを抑える(アイソトープ療法)

##### ② 甲状腺機能低下症 = 甲状腺ホルモンが必要量より少なくなる

病名	症状	主な治療
橋本病(慢性甲状腺炎)	甲状腺全体が堅くなる・しこりができる(萎縮して小さくなる場合もある)、皮膚が乾燥する、声がかれる、食欲不振、動きが鈍くなる、うつ状態になる、記憶力が低下する、手足がむくむ、(子供の場合)成長が遅れる など	①薬を服用して甲状腺ホルモンの合成を促す、②薬を服用して甲状腺ホルモンを補充する

##### ③ その他甲状腺の病気

病名	症状	主な治療
亜急性甲状腺炎	甲状腺が部分的に堅くなる、甲状腺に痛みを感じる、発熱、全身がだるくなる など	痛みが激しい場合には鎮痛剤や消炎剤の服用
腺腫(良性)	甲状腺にしこりを感じる(痛みはない)、声がかすれる	3cm程度の大きさであれば手術による切除
甲状腺ガン(悪性)	しこり <sup>しゅよう</sup> が大きいとき など	①腫瘍の摘出手術、②抗ガン剤の投与、③放射線治療 これらの組合せ

#### (2) セルフチェックで早めの受診

甲状腺の病気は進行が遅く、体の不調を感じてから病院に行き発見されるケースがよくあります。上表のような症状がいくつか認められるときは、医師の診断を受けましょう。視診・触診、採血による甲状腺機能検査、画像診断(X線検査、超音波検査など)や、甲状腺に針を刺し、細胞を吸引しての検査などが行なわれます。

《皆様の安心と安全のブレイントラスト(専門顧問グループ)》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当：八城一浩

〒107-0052 東京都港区赤坂3-1-2 TEL:03-3582-4511